

Press Release

**LTV最大化を支援するアプリマーケティングツール「BuzzAd Pop」を展開する
バズヴィルがアメリカ・台湾へ市場進出を加速**

リワード広告配信プラットフォームBuzzAdを展開するバズヴィルは（本社：韓国ソウル市、CEO：John Lee、以下「バズヴィル」）は、世界初のチャットヘッド型広告インベントリー「BuzzAd Pop」をリリースし、アメリカ、台湾、日本などグローバル市場への展開を開始したことをお知らせいたします。

今回リリースしたインベントリー「BuzzAd Pop」はAndroidのホーム画面上にチャットヘッド型アイコンを表示してユーザーにアプローチするアプリマーケティングソリューションです。アプリを起動しなくてもホーム画面より、パーソナライズされた広告とコンテンツを表示することが可能な、ユニークな新たな広告インベントリーとなります。

またBuzzvilは、より効果的なリワード広告を可能にするダイナミックリワードや費用対効果の低いユーザーの選別などマシーンラーニングを効果的に用いた方

法も導入し、パブリッシャーには最適の収益率を、広告主には高効率の広告成果を提供して行きます。

弊社CEOであるJohn Leeは「モバイルベースのSDKソリューションで韓国市場を掌握したバズヴィルが、アメリカ、台湾、日本など3つの海外拠点を中心にグローバルパートナーへ、ロック画面、インアプリネイティブなどのユニークな広告領域を通じて、最適化された収益化の機会を提供していく」と新しい市場での可能性を語りました。

バズヴィルは、韓国国内の通信3社をはじめ、OKキャッシュバック、Lポイント、リブメイト、ハナメンバーズ、CJ ONE、ハッピースクリーンなどと提携しております。現在、アメリカのポイント事業者「アプリカルマ」、台湾のメンバーシップ事業者「ユーフォン」とも協議中であり今後さらに「BuzzAd Pop」をグローバル市場へ拡大して参ります。

*「BuzzAd Pop」は韓国を含む各国で特許取得及び出願中

【株式会社バズヴィルについて】

2012年に韓国で事業を開始、2014年に日本に進出いたしました。スマートフォンのロック画面上に広告を配信する技術を利用し、BtoC向けにお小遣いアプリHoneyScreen（ハニースクリーン）とSlideJoy（スライドジョイ）を提供、BtoB向けにロック画面広告配信技術を導入できるBuzzScreen（バズスクリーン）を提供しており、世界最大のロック画面広告プラットフォームとして、30ヶ国で展開しています。日本ではJRE POINT、Pontaポイント、LINEポイントが貯まる「貯まるスクリーン」シリーズとして現在3つのパートナーアプリを提供しています。

日本支社：東京都港区虎ノ門4-3-1城山トラストタワー21階

設立（日本）：2014年

日本支社代表：吉澤 新

公式ホームページ：<https://www.buzzvil.com/ja>

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社バズヴィル 広報担当：pr.japan@buzzvil.com